

## 会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成28年度第4回水戸市行政評価委員会
- 2 開催日時 平成28年9月2日（金）午後1時30分から午後5時00分まで
- 3 開催場所 本庁舎南側臨時庁舎 3階中会議室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員  
今村一真，大谷由美子，高島和子，水庭清隆，吉田勉（氏名五十音順）
  - (2) 執行機関  
荒井宰，川上悟，櫻井和則，深谷晃一，千田寛，吉川彩美，畠山明子
  - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - (1) 平成28年度事務事業の評価（新規評価）について（公開）
  - (2) 行政評価に係る意見について（公開）
  - (3) 答申書について（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称
  - ⑫ 第4回行政評価委員会の審議のスケジュール（再配布）
  - ⑬ 平成28年度事務事業の評価（案）
  - ⑭ 答申書形式（案）
- 9 発言の内容

○**執行機関** 本日は、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、平成28年度第4回水戸市行政評価委員会を開会させていただきます。初めに、資料の確認をさせていただきます。資料⑫の「第4回行政評価委員会の審議のスケジュール」については、第2回委員会で配布しましたが、担当委員名が抜けておりましたので、委員名を追加したものを改めて配布させていただいております。資料⑬は、各委員の皆様による事務事業の評価です。資料⑭は、答申書の形式についての案となります。なお、本日は各事務事業の担当課も出席しておりますので、よろしく願いいたします。それでは、議事進行につきましては、\_\_\_委員長をお願いいたします。

○**\_\_\_委員長** それでは、会議次第に基づき、議事を進めたいと思います。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。それでは、会議録の公表の関係で、会議録署名人を指名させていただきます。\_\_\_委員と\_\_\_委員にお願いいたします。それでは、早速、議事に入りたいと思います。委員の皆様には、お忙しい中、各事務事業についての評価案を作成していただきましてありがとうございました。本日は、各委員の評価案に基づき、議論を進めていきたいと思っています。審議は、限られた時間の中で進めなければなりませんので、一つの事業についての審議時間は25分程度として、資料⑫「審議のスケジュール」にある順番で進めていきたいと考えております。新規で対象事務事業となっている6事業の評価を実施します。進め方ですが、まず、事務事業の評価について委員の皆様から簡潔に御説明をいただいた後、審議を行ってまいりたいと思います。なお、本日は、各事務事業の担当課に出席いただいておりますので、疑問点等がある場合には、随時御質問いただければと考えております。また、審議が済んだ担当課は退席いただくということで、御了承願います。進め方については、以上の方法でよろしいでしょうか。それでは、審議のスケジュールに基づきまして、\_\_\_委員から「農業祭」について御説明をお願いします。

○**\_\_\_委員** はい。私は農業祭と商工祭を担当いたしました。二つ一緒に開催しているイベントということで、大体の評価の方向性は同じようなものになりました。まず、農業祭についての結論は、見直しの上で継続、今後の方針として手段を改善する、実施の手段を変えるという結論です。理由としましては、開催場所を再検討すべきというのが一番の理由です。農業祭は来場者数を5万人強と見込んでおりますが、実際の来場者数は例年で8万人ほどでした。前年は会場が変更となった関係で、来場者は3万人程度でした。いずれにしても大規模なイベントであることが想定されます。そのため、水戸市という地域性上、大規模な駐車場は不可避であることが考えられました。また、雨天時の対応が良くなかったという意見がありましたので、速やかな対応ができる場所ということがイベント開催場所の条件であると考えられます。イベントの成功のためには、出店者と来場者の双方にとって適切な開催場所を選択する必要があります。アンケートの結果も踏まえて、次回以降の開催場所を検討していただきたいと思っています。また、長期的には水戸市民だけでなく、茨城県民や近隣の県民に対しても水戸をアピールできるようなイベントとして、イベント内容の充実や広報の方法を検討していただきたいと思っています。指摘事項として、広報の方法を質問させていただきましたところ、JAに一括委託しているとのことでした。JA水戸会員宛てに広報を行ったとのことでしたが、会員だけでなく、広く一般市民に対しても何らかの方法で周知していただきたいと思っています。農業祭については以上です。

○**\_\_\_委員長** はい。農業祭について御報告いただきましたが、何か御質問等ございますか。

<意見なし>

○**\_\_\_委員長** よろしいですか。執行機関の1次評価で見直しの上で継続、実施の手段を変えるのとありますが、\_\_\_委員のおっしゃったことと同じく場所を検討するというのでしょうか。

○**農政課** はい。去年は千波湖畔、その前は見川の総合運動公園で開催しました。今年は旧県庁の広場にて開催を計画しております。開催場所の選定に当たって改善点があるということです。

- \_\_\_委員長 平成 26 年度までは水戸市総合運動公園，平成 27 年度は千波湖の自由広場での開催ということです。この千波湖の自由広場が，ぬかるみが多くて改善してほしいという意見があったのですね。
- 農政課 2 日間イベントを開催しましたが，2 日とも雨に見舞われて午前中のうちからぬかるみがひどくなってきました。
- \_\_\_委員長 そうすると去年の平成 27 年度だけが問題があったということですか。その前の平成 26 年度は特に問題はなかったのでしょうか。
- 農政課 雨天時の足元の対応としては平成 26 年度まで大丈夫でした。
- \_\_\_委員長 去年の意見を踏まえて，今年度の会場は旧県庁の広場に変更したのですね。
- 農政課 しかし旧県庁では駐車場の問題があります。そのため公共交通機関での御来場を呼びかける予定です。
- \_\_\_委員長 平成 27 年度は足元が悪かった，平成 28 年度は交通の便が今一つの場所であった。平成 28 年度はこれから実施するわけですが，既に反省が先立っているということですか。では平成 29 年度は，旧県庁では開催しない方向で検討するのですか。
- 農政課 今年度の結果を踏まえて，商工祭と合わせて検討していきます。
- \_\_\_委員長 農業祭と商工祭は一緒に開催しているのですか。
- 農政課 合同で開催しております。
- \_\_\_委員長 会場は同じなのですね，分かりました。他に御質問はありますか。
- \_\_\_委員 はい。行政評価調書の中で，農業祭を主催する実行委員会は，農業者団体である J A 水戸が中心的役割を果たし運営しているとありました。財政的支援があるとはいえ，運営は J A がやっているとのことですが，資金はどのくらい出しているのでしょうか。要は出資の状況や，すみ分けはどうなっているのかが分かりません。また，広報も J A がしているということでしたが，そのすみ分けは意識されているのか，市が下支えしているのかどうかなど，そういったことを教えていただきたいと思います。
- 農政課 農業祭には二つの要素があります。一つは農産物の共進会，それから消費者に対する野菜等の直売です。直売に当たっては，通常より 1～2 割安い価格で提供するイベント内容となっております。行政評価調書の 2 ページ目，行政コストの推移を御覧ください。市の助成金として 165 万円，J A 水戸の賛助金として同額が支出されておまして，合わせて 330 万円の予算の中で農業祭を運営しております。
- \_\_\_委員 そのすみ分けというのはあるのですか。マンパワーは J A や直売所から出ていますが，市が予算の半額を下支えする根拠というのはどのように説明できますか。
- 農政課 市の支出の目的としては，イベント開催に当たってのテント費用や警備費用などの運営に関する費用を出しております。
- \_\_\_委員 それではマンパワーに対する人件費や，準備にかかった費用などは J A が負担するという形で同額ずつ出している形ですか。
- 農政課 大きな考え方として，そういう感じです。
- \_\_\_委員 今の説明では，助成金は出しているが，使われ方について大まかな説明しかできないという感じです。同額ずつ出す妥当性というのは検証されないのですか。
- 農政課 支出の詳細については，一覧表で報告を受けております。その中でイベント運営に関する費用としてチェックをしておりますが，細かなすみ分けということはおしており

ません。

○\_\_\_委員 同額ずつ負担しているのですから、場所はここのほうがいいのではないかと  
いった発言権は市にもあるのではないですか。仮に規模を縮小させようとした場合や、あ  
るいは同額ずつの費用を出すのが困難になった場合に足並みが揃わないわけですよ。そ  
ういった時の調整などは何を根拠に、どう行うのが分からないのですが。

○農政課 実行委員会の執行機関をJ A水戸が担当しておりまして、農業団体や市も実行  
委員会のメンバーとして参加しておりまして、総会等では発言の場もあります。その他に  
執行機関会議を行っておりまして、その協議においても水戸市の考えは反映しております。

○\_\_\_委員 はい。

○\_\_\_委員長 よろしいですか。場所の検討が重要な要素になっているようですね。事業  
費も見直しの対象とする必要があるでしょうか。

○農政課 経費は年々増加傾向にあります。そういった中で、予算は上げずに同額でやっ  
てきていまして、他のところでコスト削減を図りながら実施しております。

○\_\_\_委員長 折半ということで同額ずつ出しているわけですね。正確に言うと補助金で  
すから、単に折半しているだけでは大雑把です。補助金交付要項もありますので、何に使  
ったかを明確にしたほうが良いと思います。他に何かありますか。

○\_\_\_委員 今の説明だと、実行委員会はJ Aに任せていて、委員の中に市職員が入って  
いる形ですよ。何かおかしい気がします。

○\_\_\_委員長 多分どこのイベントも同じような感じになっていると思います。おそらく  
産業祭だけではない話で、それは課題としてあると思います。例えば事故が起こった場合、  
実行委員会が全面的に損害賠償などを負うことになるのですか。

○農政課 イベント保険といますか、災害保険に加入しております。

○\_\_\_委員長 事故が起こった場合、市が賠償責任を負うことにならないような規約にな  
っていますか。過去に事故はなかったでしょうか。

○農政課 大きな事故というのはなかったと思います。

○\_\_\_委員長 実行委員会方式というのはどこの自治体でも多くなっていますが、見直し  
というか考える必要があるかもしれませんね。入場者数というのは評価の中で重要かと思  
いますが、カウントしていますか。

○農政課 商工祭側が本部となってイベント全体を統括していまして、主催者発表として  
来場者数を出しております。

○\_\_\_委員長 商工祭と農業祭で目標とする入場者数は違うのですが、実績は一緒になっ  
ているのはなぜですか。

○農政課 商工祭と農業祭のどちらを目当てに来ているのか判別が難しいものですから、  
来場者をまとめて実績としてあげております。

○\_\_\_委員長 実績が一緒になっているなら、目標も協議して決めるといいのではと思  
います。実際のカウント方法というのはどうなっていますか。

○農政課 本部が行っておりますので、分かりかねます。

○\_\_\_委員長 はい。委員の皆様いかがでしょうか。

○\_\_\_委員 よろしいですか。農産物の共進会というのはどういうものなのでしょうか。

○農政課 農家が作った農産物を出していただいて賞をつけていく、品評会のようなもの

です。

- \_\_\_委員 直売所では販売をしているのですね。売上げは出しているのですか。
- 農政課 実績としては出しておりません。
- \_\_\_委員 どれだけ売れたとか、そういう実績は出していないということですか。
- 農政課 はい。
- \_\_\_委員 来場者数のカウントの話と同様に、実績評価は出したほうがいいと思います。
- \_\_\_委員長 よろしいですか。先ほどアンケートとおっしゃっていましたが、どのようなアンケートを取られたのでしょうか。
- \_\_\_委員 商工祭部門でアンケートを実施しています。
- \_\_\_委員長 農業祭については、来場者や出店者へアンケートは実施していないのですね。
- 農政課 はい。行っておりません。
- \_\_\_委員長 イベント終了後に反省会のようなことはしていますか。
- 農政課 執行機関の中でやっています。
- \_\_\_委員長 それが翌年に生かされていますか。
- 農政課 直売のほうでは生かされています。
- \_\_\_委員長 別の資料になりますが、事業費内訳の中で、例えば会場設営費などは商工祭と農業祭で折半となっているのですか。負担割合などあるのでしょうか。
- 農政課 発注は一つにしておりまして、農業祭はテントがいくつ、商工祭はテントがいくつといったように割り振っています。
- \_\_\_委員長 規模は商工祭のほうが大きいようですね。
- 農政課 はい。
- \_\_\_委員長 商工祭の実行委員会執行機関はJ Aではないのですか。
- 農政課 商工会議所がやっております。
- \_\_\_委員長 それぞれ担当課が分かれていたり、実行委員会執行機関もJ Aと商工会議所とバラバラですが、連絡会議などはされていますか。
- 農政課 はい。年に4回ほど行っています。
- \_\_\_委員長 一緒に行っているのですね。そうするとお金の切り分けが難しくなってきますね。
- 農政課 そうですね。
- \_\_\_委員長 会場についてはどのように見直すのですか。去年は雨で足元が悪かった、今回は駐車場が足りない。そういうことが分かっているから、次はここでやりたいという目論見はありますか。
- 農政課 青柳公園という意見もありましたが、駐車場の問題があって難しいです。
- \_\_\_委員長 駐車場が充分確保できて、足元も舗装されている場所を選びたいということですね。今までその条件に合致した場所はなかったのでしょうか。
- 農政課 以前に利用していた見川の総合運動公園が一番良かったのですが、去年は施設改修のために使えませんでした。
- \_\_\_委員長 ではまた水戸市総合運動公園へ戻ることになるのですか。
- 農政課 候補の一つとなる可能性はあります。しかし、出店者から「駐車場が足りない」

「スペースが狭い」という意見が出ていまして、他の場所がいいのではという声もあります。

○\_\_\_委員長 他の場所というところがありますか。

○農政課 具体的にはケーズデンキスタジアムという意見が出ています。

○\_\_\_委員長 はい。場所の検討だけを継続評価の理由にするのはいかがなものでしょうか。大体の考え方は固まっているようなので、それと合わせて事業費の負担割合とか、商工祭との関係とか、そういうことを入れてはどうでしょうか。

○\_\_\_委員 御指摘いただいた所を含めて、見直していきます。

○\_\_\_委員 よろしいですか。支出の内訳を見ますと、イベント費が210～230万円で推移していますが、この金額というのは予算が330万円あることが前提で使われているとしか思えないです。市と実行委員会執行機関が165万円ずつ分担している理由がぼやけてしまう気がします。もし予算が少なくなればイベント費も減らすことになって、イベントの規模が縮小することになります。自主的に賛助金を集めるとか、収益を生かすといった発想に転換せずに、お金を出したまま、もらったままになっては良くないと思います。

○\_\_\_委員長 賛助金というのはどこから出ているのですか。

○農政課 J Aが165万円を出しています。

○\_\_\_委員 J Aが出しているから、それと同額を市が出しているというのでは工夫がないと思います。

○農政課 イベント費はいわゆるステージイベントの出演料というわけではなく、共進会に関してのものです。

○\_\_\_委員 無駄遣いしているとは思いますが、結果的にイベント費がかなりの金額になっていますよね。それを下支えする根拠も弱いという気がします。

○\_\_\_委員長 補助金が固定化しているようなので、検証したほうがいいかと思います。その他何か質問はありますか。よろしいでしょうか、ありがとうございました。

○\_\_\_委員長 商工祭について、\_\_\_委員お願いします。

○\_\_\_委員 商工祭の評価は農業祭とほぼ同じものになります。結論としては見直しの上継続、今後の方針として手段を改善する、実施の手段を変えるが妥当とさせていただきました。理由としては、開催場所を検討していただきたいということと、水戸市だけでなく、もっと広域に対して周知していただきたいということが挙げられます。広報の方法としてチラシを新聞折込みに入れたり、幼稚園や小学校に配布したということでしたが、水戸市のホームページやSNSに掲載するなど、新聞を購読していない若者向けに広く周知する方法を検討していただきたいと思いました。先程の農業祭は、収支についての御指摘がありましたので、私とは違う視点からの御意見を頂きたいと思います。

○\_\_\_委員長 はい、ありがとうございました。ただ今の評価を踏まえて、委員の方から御意見はありますか。

<意見無し>

○\_\_\_委員長 農業祭はJ Aと事業費を折半して事業を行っているとのことでしたが、商工祭の事業費はどのようになっているか御説明いただけますか。

○商工課 はい、事業費は650万円前後で推移しています。収入については水戸市からの

補助金、出店者から集める出店料などの事業収入、農業祭と一緒にやっているということでそちらからの分担金、主催者である商工会議所からの負担金などで構成されております。支出については会場設営費が大きな部分を占めておりまして、概ね 400 万円弱となっております。それ以外にイベント費、広報宣伝費などで計上しております。

○\_\_\_委員長 はい。事業収入というのは具体的にはどのようなものですか。

○商工課 1.8×3.6 メートルを一小間として、一小間につき 1 万 6 千円を手数料として頂いておりまして、それが主な事業収入となります。

○\_\_\_委員長 テントは市が設営するのですか。

○商工課 実行委員会の商工会議所が設置しています。机や椅子なども会場設営費の中で用意しています。もし電気工事が必要な場合には、希望をとりまして、機材はこちらで用意させていただいております。電気料金だけ負担していただいております。

○\_\_\_委員長 出店者というのは具体的にはどういう方々ですか。

○商工課 出店者の 4 割が飲食関係の方で、御当地グルメや B 級グルメの店です。その他は展示や物販などです。

○\_\_\_委員長 分かりました。分担金の 55 万円というのは商工会が出しているのですか。

○商工課 それは J A が出しています。商工祭と農業祭と一緒に開催しているから、共通の経費として、例えば広報などの一部を負担していただく形です。

○\_\_\_委員長 負担金はどこから出ていますか。

○商工課 執行機関の商工会議所から出ています。

○\_\_\_委員長 今年だと商工会議所が 280 万円の負担金に対して、市は 310 万円を補助金として出したのですね。去年は負担金が随分少ないようですが、これはなぜですか。

○商工課 今年度の予算の時点で、まだ会場が決まっていなかったためです。場所によっては経費がかかる可能性があったため、平成 28 年度予算は負担金が大きくなりました。消防法の関係で、開催場所によっては防煙シートを用意する必要があると、消防署から指導がありました。その場合の経費も見込んであります。また、今年度は 120 周年記念の年に当たりまして、充実した内容で開催しようという思いがありました。補足として、平成 26 年度から平成 27 年度にかけて負担金が大幅に上がっていますのは、開催場所が水戸市総合運動公園から千波湖自由広場になったためです。会場は全て屋外になるため、テント数を増やす必要があったため、事業費が上がったことに伴いまして、負担金も上がりました。

○\_\_\_委員長 分かりました。事業収入は一小間につき 1 万 6 千円を頂くということでしたが、農業祭は仕組みが違うのですか。

○商工課 商工課では分かりかねます。

○\_\_\_委員長 商工祭と農業祭では、エリアが分かれているのでしょうか。

○商工課 基本的にそうなります。

○\_\_\_委員長 J A からの分担金は、何に対してのものですか。

○商工課 産業祭のチラシ作成や広報活動費など、共通する部分に充てています。

○\_\_\_委員長 J A は 165 万円を農業祭に出して、55 万円を商工祭にも払っているということですね。

○商工課 私共が折込みチラシなどをまとめて作成している関係で、御負担いただいております。

- \_\_\_委員長 はい。委員の皆様の御意見を申し上げます。
- \_\_\_委員 はい。広告宣伝費の計上は、商工祭のほうで一本化して行っているのですね。
- 商工課 そうです。
- \_\_\_委員 会議費を見ると商工祭は随分少ないようですが、会議は行っているのですか。
- 商工課 会議は行っています。なるべく費用がかからない場所、例えば商工会議所が入っている産業会館を利用するなど工夫をしているため、会議費の計上は少なくなっています。
- \_\_\_委員 商工祭と農業祭、一本化して支出しているのは広告宣伝費のみですか。
- 商工課 その他にも、当日の警備費や共通のステージの設置費などがあります。
- \_\_\_委員 商工祭側で一本化して負担している費用はあるが、農業祭側にはそういった負担はないということですか。
- 商工課 はい。
- \_\_\_委員 それにもかかわらず、商工祭側には負担金が生じていて、農業祭側には負担金がないのですね。その矛盾は問題にならないのですか。
- 商工課 商工祭の実行委員会と農業祭の実行委員会は会計が別になっていまして、お互いに干渉しないようにしています。
- \_\_\_委員 農業祭について、収入に貪欲でなく、支出が多いように思います。
- \_\_\_委員長 よろしいですか。担当部署が二つあるのは評価しづらいですね。一体化したほうが良いのではないのでしょうか。
- 商工課 来場者にとっては、別々のイベントという認識はあまりないと思われます。
- \_\_\_委員長 主催は産業祭実行委員会一本化しているのですか。
- 商工課 はい、産業祭実行委員会が上部にあって、その下部として農業祭と商工祭それぞれの実行委員会に分かれています。
- \_\_\_委員長 やりづらいということはないですか。
- 商工課 商工課と農政課ともに、同じ産業経済部に属していますので、連携は取れていると思います。
- \_\_\_委員長 実行委員会であるJAと商工会議所は連携しているのでしょうか。トラブルなどはないですか。
- 商工課 特にトラブルはないです。今まで別々に運営してきた経緯があって、それぞれにやり方が確立していたのですが、産業祭として一緒になって運営となっても、なかなかお互いに干渉できない状態です。経費の流れなどを一本化することも難しくなっています。
- \_\_\_委員長 共通のイベント、例えば著名人を招いてのステージイベントは一緒に担当するのですか。
- 商工課 主に商工祭が担当します。
- \_\_\_委員長 補助金はずっと一定額ですが、変動することはありますか。
- 商工課 補助金については、ずっと定額でやってきていまして、何かの要因で変動することは今までありませんでした。委員の方がおっしゃるように、内容によって検討することも必要かと思えます。
- \_\_\_委員長 農業祭はJAと市が折半する形で、定額で運営しています。一方で商工祭は、負担金がかかなり変動していますが、補助金は一定額です。そういう仕組みについて問題



はないですか。

○**商工課** 水戸市の補助金に対する考え方として、大体事業費の1/2という考えがあります。商工祭についても、事業費の1/2を超えないよう予算化しています。事業費が下がることがあれば、補助金もそれに伴って下げるという考えです。ただし、必ず1/2でなければいけないという決まりがあるわけではないです。

○**\_\_\_委員長** はい。イベント内容の見直しはどのようにしていますか。

○**商工課** 実行委員会を中心として、毎年検討しています。オークションや子ども向けイベントを充実させるなど、継続して取り組んでいます。その他にはクイズ形式のイベントを入れるなど、内容を入れ替えています。

○**\_\_\_委員長** 出店者アンケートは毎年実施していますか。

○**商工課** 平成8年度から実施しています。

○**\_\_\_委員長** 来場者へのアンケートは実施していますか。

○**商工課** 同じく平成8年度から行っています。

○**\_\_\_委員長** その結果というのはどのようなものですか。おおむね好評だったのでしょうか。

○**商工課** 良かったかどうかではなく、来場者がどこから来たのか、移動手段は何か、買い物に使った金額などを聞いていました。その他の御意見の部分で、子ども向けのイベントが良かったというお声を頂きました。

○**\_\_\_委員長** 分かりました。来場者数については商工祭側でカウントしていると伺ったのですが、どのようにしているのですか。

○**商工課** 集計のためにアルバイトを雇用して、ポイントごとに一定時間集計を行います。その数値からおおよその来場者数を推定します。

○**\_\_\_委員長** はい。その他ありますか。

<意見無し>

○**\_\_\_委員長** 商工祭のほうが規模は大きいですね、そうすると商工祭のほうがイベントを主導しているのですか。

○**商工課** 主要なところは商工祭が担っている形です。

○**\_\_\_委員長** はい。いかがでしょうか、場所の選定が課題だということは分かりましたが、それ以外に改善点は何かありますか。

○**\_\_\_委員** よろしいですか。JAからは農業祭に165万円、商工祭に55万円出しているということでしたが、その金額である理由は何でしょうか。

○**商工課** 商工祭と農業祭に分かれていた頃に取り決めていたそうです。今年で24年目になります。

○**\_\_\_委員** 55万円は共通経費を担保するためのものですか。

○**商工課** 広告宣伝費や警備費用、ステージ設置費などの共通経費の一部を負担するための補助金です。

○**\_\_\_委員** JAが両方のイベントに出資している形はおかしいのではないかと思います。一括した金額を農業祭実行委員会へ出資して、その一部を共通経費として商工祭へ計上するという形ならまだ分かるのですが、見直す必要があると思います。

○**商工課** 御指摘を踏まえて検討していきたいと思います。

- \_\_\_委員長 開催場所の選定だけでなく、事業費の負担割合の妥当性についても検討するのがいいと思います。
- 商工課 はい。
- \_\_\_委員長 それ以外に何かありますか。ありがとうございました。
- \_\_\_委員長 それではこみっとフェスティバルについて、行政評価の協議を始めたいと思います。まず今村委員から説明をお願いします。
- \_\_\_委員 はい。行政評価調書の1次評価において、現状のまま継続が妥当と判断しております。理由としては、NPOやボランティア団体の活動を知ってもらう機会を確保するために企画されているという趣旨がありまして、実行委員会や会場の選定、運営の方法などが丁寧に検討されていることがヒアリングから明らかになりました。一方で、実行委員会抜きでNPOやボランティア団体が議論する場がないと思いました。中心となる組織が生まれて、そこが主体的に活動を取りまとめていくようになるといいと感じました。以上です。
- \_\_\_委員長 はい。質問ですが、こみっととは何でしょうか。
- 市民生活課 コミットメントから来ています。関わり合うという意味です。
- \_\_\_委員長 いつから開催されていますか。
- 市民生活課 平成24年度からです。本年度で5回目となります。
- \_\_\_委員長 このイベントが始まった経緯をお聞かせください。
- 市民生活課 はい。水戸市内にはNPOやボランティア団体は数多くあるのですが、市民に周知されていません。また、NPOやボランティア団体の会員が少ないこともありますので、もっと市民に周知していこうということで、NPOやボランティア団体が一堂に会したイベントを行おうと始めました。
- \_\_\_委員長 内容としては、NPOやボランティア団体の活動について発表する場ということですか。
- 市民生活課 はい。このイベントの趣旨として、NPOやボランティア団体の活動を発表する場を作ることが挙げられます。また、それぞれの団体は個別に活動している傾向にあるので、他の団体と交流する場を作りたいと考えています。そして市民の方に活動の場を見ていただいて、少しでも活動に参加していただきたい、これら三つの目的をもって開催しています。
- \_\_\_委員長 イベントの開催期間は何日ですか。
- 市民生活課 1日です。
- \_\_\_委員長 今までの開催実績を見ますと、2013年は参加者数が350人程度でしたが、2016年は10倍近い3,200人ですね。会場であるイオンモールでは、ホールを使って発表するのでですか。
- 市民生活課 イベント構成としては、ステージ発表や展示、交流・相談コーナーの二つに分かれております。
- \_\_\_委員長 パネルディスカッションなどはするのですか。
- 市民生活課 最初の頃はありました。今はステージ発表が主です。
- \_\_\_委員長 来場者はどのような方ですか。

○**市民生活課** テレビ・ラジオ・チラシでイベントを知って来場される方や、イベントを知らずにたまたまイオンモールへ買い物に来て、通りがかりにイベント会場へ立ち寄るという方もいます。

○**委員長** 参加している団体は幾つですか。

○**市民生活課** 第1回は26団体でした。第2回、第3回は32団体でして、昨年度は34団体でした。

○**委員長** 徐々に増えているのですね。水戸市のNPO認証などもそちらでしているのですか。

○**市民生活課** 茨城県が行っています。

○**委員長** 認証の事務は県が行うのですね。もし権限移譲の話があれば、水戸市がする可能性もありますか。そのほうがより一体化すると思います。

○**市民生活課** 可能性としてはあります。

○**委員長** 分かりました。大変意義深い事業だと思います。フェスティバルの実行委員会のメンバーはどのような方ですか。

○**市民生活課** NPOやボランティア団体に声掛けをして、実行委員会として参加の意思がある団体をお願いをしています。

○**委員長** 実行委員会に入っていて、どういうイベントにするか、準備はどうするかなどを協議するわけですね。つくば市や他市の幾つかには、NPOを支援するセンターがありますが、水戸市にはありますか。

○**市民生活課** 水戸市全体のボランティアセンターというものはないのですが、例えば福祉ボランティアに関しては、社会福祉協議会がセンターを設けております。今後、NPOやボランティア団体を含めた市民活動団体が活動しやすい拠点づくりを進めていきたいと考えています。大好きいばらき県民会議が運営している「交流サルーンいばらき」のようなイメージで、水戸市でも作りたいと考えています。

○**委員長** 分かりました。委員の方から何かありますか。

○**委員** よろしいですか。去年のアンケート結果について、回答者が81人とのことですが、参加人数に比べてかなり少ないのはなぜでしょうか。もう一点は、この事業の目的の一つとして市民への周知が挙げられていましたが、市民への広報はどのようにしているのかをお聞かせください。

○**市民生活課** はい。アンケートについては、会場内にて来場者へお願いしています。会場がイオンモールですから、じっくり御覧になる方もいれば、通りがかりに見ている方もいます。今後はさらに積極的に御協力いただけるようお願いしていこうと思います。広報については、ホームページや広報みと、マスコミを通じて情報を発信しております。

○**委員** はい。会員数を増やすという目標のためにも、いろいろ検討してほしいと思います。

○**市民生活課** はい。ありがとうございます。

○**委員** 効果測定が難しい状態なので、金額が妥当なのか判断しきれない状況です。NPOやボランティア団体が、さらに組織化できてくれば違ってくるかもしれませんが、まだそこまでは至っていないと感じましたので、現状のまま継続でいいのではと判断しました。

- \_\_\_委員長 はい。県はこれに類似するイベントは行っているのですか。
- 市民生活課 NPO関係のイベントはないです。福祉ボランティアとしては、県の総合福祉会館などで個別に開催しているのですが、NPOが一堂に会して行うことはないです。
- \_\_\_委員長 他の市についてはどうですか。
- 市民生活課 他の市町村単位ではやっております。
- \_\_\_委員長 今後はどのように発展させていくのでしょうか。
- 市民生活課 本年度は参加団体の目標を50団体と設定しまして、実行委員会を組織して準備を進めております。来場者はもちろんですが、出展者数を増やすことによってさらに情報を拡散し、市民と団体の交流が広がっていくと考えています。
- \_\_\_委員長 分かりました。これまで4回開催されてきましたが、このイベントとNPOやボランティア団体の活動との関わり合いについて、感想はいかがですか。
- 市民生活課 このイベントの目的の一つに、団体同士のつながりがあります。団体同士で声を掛け合ったり、各々の活動に呼びこみをするなど、少しずつ手応えを感じています。行政としましても、市民協働という意味で力強い存在になっています。
- \_\_\_委員長 このイベントをきっかけに事業が起きたということはありませんか。
- 市民生活課 大きな事業とは言えませんが、障害者施設や高齢者施設の方が、折り紙などの企画を見て「うちの施設でもやってくれませんか。」と、出展者の方に声掛けをしているという話は聞いております。
- \_\_\_委員長 はい。その他ありますか。
- \_\_\_委員 よろしいですか。イオンでの開催場所は具体的にどこですか。
- 市民生活課 ステージイベントは、1階のメインコートで行っています。
- \_\_\_委員 本年度は参加団体が50とのことですが、手狭になってしまうのではないのでしょうか。
- 市民生活課 ステージイベントが1階で、相談・交流コーナーは2階のイオンホールを利用しております。さらにイオンさんの御厚意で、通路の一部を御提供いただいております。
- \_\_\_委員 狭くてやりにくいということはないのですね。
- 市民生活課 いずれはそうなることも考えられます。来場者の利便性や集客の点から、工夫を重ねながらイオンでの開催を続けたいと考えています。
- \_\_\_委員長 よろしいのでしょうか。始まって間もないイベントですが、取り組んでいる内容は素晴らしいものですから、多くの団体から意見を聞きながらイベントを充実させていただきたいと思います。現状のまま継続ということではよろしいのでしょうか。では、よろしく申し上げます。
- \_\_\_委員長 次に水戸黄門まつりについて審議したいと思います。私から御説明させていただきます。水戸黄門まつりは市を代表するまつりとして、重要なイベントであります。結論から申し上げますと、見直しの上で継続が妥当との評価となりました。理由として、水戸市を代表するイベントではありますが、一方で、長年のうちにマンネリ化しているという意見がありました。また、市民参加の形で盛り上げていくか、観光交流人口を増やすべく対外的にやるか、ある程度の方向性を検討する必要があるのではと考えました。これ

まで十分な見直しがされた実績もないので、さらにステップアップしたイベントとなるように、その在り方をゼロベースの視点も含めて検討する良い機会ではないかと思います。幾つか指摘事項はありますが、第一に、大きなまつりですので、事業費もかなり高額になりますが、事業の目標値である来場者数の測定が曖昧であると思いました。先ほどの産業祭を例にしますと、集計スタッフを雇用して来場者をカウントして、それを基に目標値を出していました。黄門まつりでは、各団体の感度評価、「去年より多かった気がする」「同じくらいだったと思う」といった声を基にして目標値を出しているとお聞きしました。事業評価を行うに当たっては、もう少し細かな数字があってもよいのではと思いました。それから、来場者の年齢層や、どこから来ているのかといった分析が充分なされていないと感じました。事業内容を見直すに当たって、基礎データが不十分だと思いますので、検討していただきたいと思います。第二に、まつりの事業内容の充実については、終わってから各団体が反省会を行う程度にとどまっています。来場者へのアンケートもされていないので、例えばインターネットを利用するなどして、まつりの充実に活用できる取組を検討されてはどうかと思います。第三に、補助金の算定について、資料の事業費の部分を御覧いただくと、3,450万円を定額として続けてきていました。これは花火の協賛金を除外した事業費ということで算定してきた経緯がある。水戸市として関与する部分を精査して、その部分に補助金を出すことを検討していただきたいと思います。第四に、このまつりの在り方を議論・検討する庁内組織や外部検討組織を設置して、今後の長期的な在り方を議論する場を設けることを検討してはどうかと考えます。以上、大きく分けて四つの指摘事項を指摘させていただきました。これらの観点から、抜本的な見直しを含めて効果的・効率的な事業を図っていただきたいと思います。以上ですが、何か御質問等はございますか。

○\_\_\_委員 はい。協賛金の使途はどのくらい制約されているのですか。

○観光課 協賛の種類は花火、うちわ、広告等です。花火を例にしますと、四号玉の協賛は〇〇です、といった発表を当日放送しています。うちわは、本体に協賛団体名を入れています。広告はパンフレットに協賛団体名を掲載しています。

○\_\_\_委員 使途との直接的なつながりがあるものと、ないものが存在しますよね。

○観光課 はい。例えばうちわの協賛金が全てそれに使われているかといえ、そうではないです。実行委員会全体に協賛金として配布型になります。

○\_\_\_委員 協賛金収入のうち、使途が限定される、直接的に協賛しているというものは、どのくらいの比率になりますか。

○観光課 ほぼ9割は使途を定めております。

○\_\_\_委員 9割は直接的な使われ方をされている。パンフレットに掲載されている広告主によってパンフレットが出来上がっているということですね。反対に言うと、パンフレットを作る以上の収入は得ていないのですね。

○観光課 大まかに申し上げますと、パンフレット制作費が100万円、うちわの制作費が400万円、花火に関連する費用が1,500万円、合わせて2,000万円となっております。

○\_\_\_委員 反対に言うと直接的に賛助金が得られない部分に、補助金が使われているわけですね。乱暴な言い方ですが、補助金抜きには花火があげられないわけではないですよ。しかし、まつりの警備費などはほぼ補助金でまかなわれていると、こういう理屈になってきますよね。使途を幅広く生かせるような賛助金の獲得方法を作っていけば、補助金

を減らすことができるとか、地域の人たちとより一体となってまちづくりを進めていける仕組みをつくることができるとか、そういうことができるのではないのでしょうか。一方で、何に使ったのか明確でない賛助金は出せないという問題もあると思いますが。そういう議論をする場はないのですか。

○**観光課** やはり協賛金という名目なので、企業としても成果を求めます。最近としては議論はしていません。一方で協賛金を出すのみという企業もごさいます。協賛金が多くなれば多くの事業ができますし、市の支出を減らすことにつながりますから、今後の課題であると思います。

○**\_\_\_委員** 目的のために出資を募るクラウドファンディングという手法もあります。従来型の賛助金の獲得方法では、補助金は潤滑油のようにしか使えないと思います。花火をもっと盛大にやりたいと思っても、そちらには補助金は使われたい。全体を盛り上げたいという趣旨に対して、賛助の方法が明確でないと思います。

○**観光課** 5年前から個人の協賛金を募集しております。その他に、メッセージ花火というものを打ち上げて、個人の思いを花火とともに発表する取組を始めております。今後伸ばしていきたいと考えています。

○**\_\_\_委員** 伸びそうな手応えはありますか。

○**観光課** 個人の協賛については、若干ですが増えてきています。メッセージ花火については、毎年同じくらい、10件ほどです。

○**\_\_\_委員** しかし、目的と直結していないと駄目なのですよ。支出科目の消耗品を見ますと、かなりの金額になっていますよね。補助金の半額くらいが消耗品で消えているわけです。

○**\_\_\_委員長** 花火の経費も、消耗品に計上されていますよね。

○**\_\_\_委員** この中に花火も入っているのですか。

○**観光課** 1,500万円ほどを占めております。

○**\_\_\_委員** 花火の費用を除いても、300万円ほどあるのですよね。やはり多い気がします。その次に多いのが委託料ですね。ステージや音響などに使われるのですか。

○**観光課** はい。その他に警備費もあります。

○**\_\_\_委員** 補助金の1/3くらいは委託料に充てられるわけですね。話は変わりますが、このまつりはロックインジャパンフェスティバルと時期が重なりますね。近隣の宿泊施設も満室になります。開催をずらしたほうがいいのか、どうお考えですか。

○**観光課** 水戸から離れた地区に泊まることになってしまう人のことを考えると、ずらしたほうがいいのかと思います。しかし、ロックインジャパンフェスティバルのお客さんが黄門まつりに流れてくるといった想定もされています。

○**\_\_\_委員** 当日は勝田駅だけでなく、水戸駅にもたくさんの乗客がいますから、まつりをやっているということは認識されると思います。ロックインジャパンフェスティバルのほうが開催日を重ねてきているのでしょうか。学生の話の話を聞いていると、そのような声も聞かれます。

○**\_\_\_委員長** 完全に重なっているのですか。

○**\_\_\_委員** ロックインジャパンフェスティバルは2週にわたって開催されます。8月の1週目の土日で、翌週の土日です。だから1週間ずらしても、また重なってしまう。

- 観光課** 黄門まつりは長い歴史があり、8月の第1週の金・土・日でずっと開催しています。
- \_\_\_委員** 伝統がありますから、開催日をずらすことは難しいですね。
- 観光課** 元々は水戸の七夕黄門まつりという名称でして、七夕をキーワードとして大事にしています。
- \_\_\_委員長** 実行委員会としては、開催時期をロックインジャパンフェスティバルと合わせるかという議論はされていますか。
- 観光課** 議題に上ったことはないです。
- \_\_\_委員長** 時期をずらしたほうが黄門まつりにとってはいいのでしょうか。
- 観光課** 例えば1週前にずらして、実際に開催してみないと検証できないです。
- \_\_\_委員** 今後もこの関係が続くのであれば、何らかの検討が必要ではないでしょうか。
- \_\_\_委員長** 旅行会社で、黄門まつりを絡めた企画はあるのでしょうか。
- 観光課** なくはないと思いますが、どこの旅行会社が行っているかは把握していません。
- \_\_\_委員長** 実行委員会側から、旅行会社へ提案したことはありますか。
- 観光課** 誘客のため、旅行会社へチラシを配布する程度はしておりますが、企画を提案して、旅行会社につくってもらおうということはしていません。
- \_\_\_委員** そういう活動をするとなれば、お金が必要になる、そこで補助金を使うこととなってしまいますよね。自由に使える賛助金を集める仕組みがあればいいのですが。協賛金を増やすためのお考えはありますか。
- 観光課** 個人からの協賛とか、市内だけでなく市外の企業にも広く呼び掛けを行ってこうと考えています。そのためには、黄門まつりのブランド力を高めていかないと、協力を得るのは難しいと思います。まずはそこから取り組んでいこうと考えています。ふるさと納税を利用するのも一つの方法と考えています。
- \_\_\_委員長** 他の委員の方から質問等ありますか。
- \_\_\_委員** 協賛する立場から申し上げますと、今年度は例年より協賛金の金額が上がっていました。観光協会に問い合わせたところ、花火の費用が上がったためとのことでした。今後金額が上がる可能性はありますか。
- 観光課** 申し訳ございません、決算がまだ出ておりませんので。もしかしたら予算オーバーする可能性はあります。
- \_\_\_委員** はい。ありがとうございました。
- \_\_\_委員長** \_\_\_委員は、花火に協賛されたのですか。
- \_\_\_委員** はい、そうです。
- \_\_\_委員長** 花火の協賛金が上がったということですか。
- \_\_\_委員** 微々たるものですが、昨年より上がっていました。
- \_\_\_委員長** 協賛する対象は花火・うちわ・パンフレットに分かれているのですか。
- 観光課** 大きく分けるとその3種類で、さらにそこから細分化しています。
- \_\_\_委員長** 大部分が花火なのですか。
- 観光課** 比率から言うと、花火の割合が一番多いです。
- \_\_\_委員長** はい。その他御意見はありますか。
- \_\_\_委員** 委員長が提案されていた、ゼロベースでの視点も含めた検討とは、具体的に

どのようなものですか。

○\_\_\_委員長 これだけ大きなイベントでありながら、来場者数の算定が充分なされていません。事業評価のアンケートもされていませんでした。このまつりは誰のためのものなのか、方向性をゼロベースで規定にとらわれずに見直してはどうかという意味です。

○\_\_\_委員 このまつりは水戸市がやっていると考えてよろしいのですね。茨城県や近隣の市は、特に賛助金を出していないのですから。

○観光課 観光協会が執行機関をしていて、市においては我々観光課が所管しています。市民の御意見を吸い上げて、まとめております。

○\_\_\_委員 例えば、協賛金を増やしていくとするなら、実行委員会そのものは市から少し離れたほうがいいのかもしいない。あるいは広域の自治体との連携を図っていくなど、そういうビジョンはありますか。

○観光課 観光課が全てを担っているわけではなく、実行委員会である観光協会の中で検討しております。

○\_\_\_委員 では観光協会はどのような考えを持っているのでしょうか。

○観光課 現状では、広域的に他の市町村から負担金を受けるという施策は、私共では進めておりません。

○\_\_\_委員 茨城県を代表するイベントということであれば、市町村はともかく、県のほうは動きがあってもいいのではと思います。あるいは常陽銀行や京成百貨店など、民間をベースに機能するような形はどうでしょう。

○観光課 いろいろな業種の企業が関わって、まつりを作っております。しかし、あまり企業の色が強くなるのは良くないと考えます。水戸という郷土の伝統あるまつりという認識のもと、市民が参加して行ってきたまつりですので、その考えは変えずにやっていきたいと思えます。

○\_\_\_委員長 水戸市のイベントとして根付いている、頑張っていらっしゃることはわかりました。市外、県外からの来場者を増やすに当たって、旅行会社とのタイアップなど、戦略はありますか。まつりは市民参加型のイベントなのでしょうか、観光交流型なのでしょうか。

○観光課 まつりは市民参加型で、その上で誘客につなげていきたい考えです。参加してもらうことも大切ですが、見て楽しめるまつりをどのように作っていくかが課題だと思います。

○\_\_\_委員長 神輿を担いだり、カーニバルをするのは水戸市在住の市民や企業の方々が中心だと思われれます。花火は県外からも見に来る人はいると思いますが、神輿やカーニバルを見ている人の多くは市内の人ではないかと思えます。一方で、土浦の花火大会や、筑西の神輿などは県外からも結構な人数が来るそうです。

○\_\_\_委員 エントリーは、市外の団体はできないのですか。

○観光課 特に制限は設けておりません。

○\_\_\_委員 市外からのお客をどう取り込むかですね。

○\_\_\_委員長 今の様子だと、市外から大量の観光客を取り込むというのは難しいですね。抜本的な検討が必要だと思います。皆さんはまつりを見てどう思われますか。

○\_\_\_委員 市民参加型ということですから、いろいろな団体が参加して盛り上げていく



のが基本です。それを見に来る人をどれだけ増やせるかが課題だと思います。以前にまちなかフェスティバルという新しいイベントがありましたが、賑わっていません。どういう方向で進めるかまだわかりませんが、イベントの在り方を考えることが大事だと思います。時代の流れとおっしゃっていましたが、黄門まつりは昔からのイベントですから、ずっと続いてほしいと思います。

○\_\_\_委員長 ありがとうございます。他にはありますか。

○\_\_\_委員 何かの大会を入れるのはどうでしょうか。そういう検討をされたことはありますか。大きな柱ができてくれば、それに賛助するという人も出てくるのではないかと思います。

○\_\_\_委員長 はい。他にはございませんか。それでは私からの指摘事項を踏まえて、検討していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○\_\_\_委員長 それでは、風土記の丘ふるさとまつりについて、\_\_\_委員から御説明をお願いします。

○\_\_\_委員 はい。風土記の丘ふるさとまつりについて、「見直しの上で継続（手段を改善する）」は妥当であるという結論に至りました。理由としては、このイベントは歴史・文化財に関するイベントであり、他に類似するイベントが市内にはなく、地域のにぎわいづくりの上でも意義のある事業であることから、継続は妥当と考えました。今後は、より多くの来場者を集めるため、広告の手段や規模を増やすことが必要と思われれます。行政評価調査にありますように、平成 26 年度の来場者数は 5 千 5 百人であったのに対して、平成 27 年度の来場者数は 2 千人と大幅に減ってしまいました。理由は天候が悪かったということが挙げられますので、荒天時への対応も含め、企画の内容についても再検討するべきであると考えます。指摘事項としては、より一層の告知に努め、事業の開催を市民に周知すべきであると考えます。私の身近な人に『風土記の丘ふるさとまつりというイベントを知っていますか。』と聞いたところ、ほとんど知っている人はいませんでした。周知に力を入れていただきたいと思います。もう一つは、市民が参加しやすく、文化財の普及啓蒙という事業の目的に沿った企画を充実させていただきたいと思います。以上です。

○\_\_\_委員長 ありがとうございます。これは 1 日だけのイベントですか。開催場所はどこですか。

○歴史文化財課 大串貝塚ふれあい公園にて、1 日の開催です。2010 年に職員が考えた『ダイダラボウの常澄大』や『ヤマトシジミのズミー』というマスコットキャラクターを、施設のポスターや展示に使って、市民に親しんでもらおうと考えております。

○\_\_\_委員長 このイベントはいつから行っていますか。

○歴史文化財課 平成 3 年に第 1 回のまつりを行いました。当時はまだ水戸市と合併する前で常澄村でした。ふれあい公園を整備して、歴史的な文化財を活用して地域振興に役立てようという、地元の皆様の声で始まりました。

○\_\_\_委員長 イベントの内容はどのようなものですか。

○歴史文化財課 ステージイベントとしては、地元中学生による吹奏楽、縄文人ファッションショー、これは市内の小中学生に縄文人の服を作る体験をしていただいて、それを着てファッションショーを行っています。その他に戦隊もののイベント、無形民俗文化財で

ある『大串のささらばやし』や『大野のみろくばやし』の実演などを行っています。

○\_\_\_委員長 来場者はどのような人が来ますか。

○歴史文化財課 お子様からお年寄りまで、幅広い世代に来ていただいております。旧常澄地区からの来場者が特に多いと感じております。それ以外の地域にあまり知られていないので、周知していくことが今後の課題でもあります。

○\_\_\_委員長 このイベントはいつ開催されていますか。

○歴史文化財課 11月の第2週頃に行っております。詳細な日程は、地元の実行委員会の方々と協議して決めております。

○\_\_\_委員長 実行委員会はどのような方で構成されていますか。

○歴史文化財課 地区会の会長、地元の生産者団体の代表者、商工会、消費者団体、ボランティアスタッフの代表者の方に参加していただいております。

○\_\_\_委員長 事業費内訳を見ますと、収入のほとんどは一般財源なのですね。支出の科目の報償費や謝礼金とは何でしょうか。

○歴史文化財課 出演者である無形民俗文化財の団体と、体験教室の指導者への報償金です。

○\_\_\_委員長 委託料とは、何を委託しているのですか。

○歴史文化財課 ステージを設置するための大きな野外テントと、模擬店などに使うテントの賃借料、花火、音響、警備などです。技術スタッフを雇うこともあります。

○\_\_\_委員長 PRはどのようにしているのですか。

○歴史文化財課 ポスター作成が主です。

○\_\_\_委員長 広告の手段や規模の改善について指摘がありましたが、改善の余地はありますか。

○歴史文化財課 FMぱるるんで放送する、フリーペーパーへの掲載、地元の小学校などでのチラシ配布などを考えております。

○\_\_\_委員長 市民が参加するのは、縄文人ファッションショーだけですか。

○歴史文化財課 模擬店の出店は市民が行っています。ボランティアも市民が参加しています。

○\_\_\_委員長 魅力ある模擬店を増やすとか、ファッションショーの参加者を増やすために、募集方法を改善するなど、考え方は良いと思います。

○歴史文化財課 その他に、沿路にフリーマーケットを設けておりまして、そちらも市民に出店していただいております。昨年は大雨のため、フリーマーケットの開催はできませんでした。そのため、参加者の大幅減となってしまいました。今後の対策として、雨天時は隣の体育館を利用できるよう調整を進めております。さらに実行委員会において、イベント内容の見直しを図っております。無形民俗文化財の実演は2団体でしたが、さらに1団体、内原地区の芸能保存会の実演を増やしました。また、これまでは常澄地区のお子さんに向けてPRしていたのですが、今年からは水戸市全域に向けて、学校を通してPRしていこうと考えておりまして、実行委員会の了解を得たところでございます。

○\_\_\_委員長 無形民俗文化財の団体はいくつあるのですか。

○歴史文化財課 市内には10団体ございます。その中で特に集客が見込める団体に、参加をお願いしています。

- \_\_\_委員長 常澄地区だけでなく、他の地区や、場合によっては市外から無形民俗文化財の団体を呼ぶという考えはありますか。
- 歴史文化財課 過去には10団体が集まったこともありましたが、現在は予算的に厳しい状況にあります。今の予算は200万円程ですが、かつては1,000万円くらいいただいていた。毎年見直しを繰り返して、現在の予算になっています。
- \_\_\_委員長 どのようなイメージのまつりにしようとお考えですか。
- 歴史文化財課 地元や水戸市に伝わる歴史を、広く市民の方に知ってもらうことです。文化財に対する理解を深めていただくとともに、地域振興を図ることが目的です。
- \_\_\_委員長 はい。委員の方から何かありますか。
- \_\_\_委員 こういうイベントにおいて、小さい子どもを集めるためには、文化財を見せるより体験型のほうが子どもは集まると思います。生活を体験してもらうような、例えば縄文時代に食べられていたものを作ってみるとか、そういった企画はどうでしょうか。
- 歴史文化財課 イベント時には模擬店を出しています。それ以外に、今の夏休み期間には、海水から塩づくりの体験を行いました。土器作りの体験や展示ということも行っております。今月には茅葺き体験教室を企画しております。
- \_\_\_委員 ふるさとまつりの当日にはそういう体験は行っていないのですか。
- 歴史文化財課 行っております。当時の遊びや、勾玉作り、火おこし体験、地元の方を講師に招いて竹細工の体験などです。
- \_\_\_委員 普段できない体験なので、もっと周知すればやってみたいという人が集まると思います。
- \_\_\_委員長 広告の手法を検討していただければと思います。
- \_\_\_委員 よろしいですか。小中学校の教材として取り上げていることはあるのですか。
- 歴史文化財課 小学校の遠足で来ていただいています。水戸市内だけでなく、他市町村からも見学に来ていただいております。
- \_\_\_委員 教材として取り上げられていることはないですか。
- 歴史文化財課 必要に応じて貸出しなど対応しております。
- \_\_\_委員長 よろしいですか。それでは手段を改善して継続していただく、体験的なことを交えて小さな子どもからも理解を得られるようにして、集客につなげる。また、歴史的な理解を深めるために、内容を見直して継続していただくという評価でよろしいでしょうか。ありがとうございました。
- \_\_\_委員長 最後に七ツ洞公園再生事業です。\_\_\_委員から御説明をお願いします。
- \_\_\_委員 はい。七ツ洞公園再生事業については、『見直しの上で継続（主体を代える）』は妥当であると考えます。理由としましては、七ツ洞公園は、水戸市の公園の中でもよい環境の中にある公園です。そのような中、七ツ洞公園再生事業は、公園の魅力を向上させるために、四季を通じて様々なイベントが実施されており、公園の魅力発信という点で評価できると思います。公園緑地課における1次評価では、更なる魅力の向上に向けて、実施主体を市から民間事業者へ委ねることも検討するとしていますが、今後の再生事業の向上に向けて、民間の創意工夫の活用を検討することは有効であると思います。指摘事項としましては、公園自体は、英国式庭園としての位置付けを生かし、イベントの時のみなら

ず、通常時の来園者の増加に向け、多方面への周知を図るなど取組が必要であると考えます。また、植物公園長の指導の下、水戸イングリッシュガーデンクラブのボランティアの方が庭園の管理を行っていますが、ボランティア会員の増強なども必要であると思います。以上です。

○\_\_\_委員長 はい、ありがとうございます。確認ですが、これは2日間のイベントですか。

○公園緑地課 イベントは2日間です。その他に、5月と6月に春のイベント、7月にフラワーマーケット、10月と11月に秋のフェスティバルを2日間、合わせてフラワーマーケットを開催しております。

○\_\_\_委員長 今回の行政評価はイベントについてですが、この七ツ洞公園再生事業というのは多くのイベントをされていますね。

○公園緑地課 大きく分けて、春と秋にフェスティバルを1回ずつ開催しています。その中でフラワーマーケットというイベントを合わせて開催しております。

○\_\_\_委員長 来客数は4万2千人となっていますが、これはイベント時のことですか。

○公園緑地課 4万2千人というのは、イベント以外の人数になります。

○\_\_\_委員長 イベント時の人数はどのくらいですか。

○公園緑地課 イベント時の人数を合わせると、昨年度はおよそ6万3千人となります。

○\_\_\_委員長 そうするとイベントだけで2万人くらい来場するのですか。

○公園緑地課 はい。

○\_\_\_委員長 イベントの内容はどのようなものですか。

○公園緑地課 春と秋のフェスティバルを行う目的として、この季節はバラの最盛期に当たります。そのバラの花や、七ツ洞公園の英国式庭園を觀賞していただくことが大きな目的となっています。ガイドによる案内も行っております。その他に、水戸市内の飲食店や雑貨店の方と提携して、模擬店を出店していただいています。また、英国式庭園ということに絡めて、アイリッシュ音楽のコンサートを開催しました。

○\_\_\_委員長 これらのイベントはいつから行っていますか。

○公園緑地課 平成26年からです。

○\_\_\_委員長 最近始まったのですか。七ツ洞公園は以前からあるのですか。

○公園緑地課 公園は以前からあったのですが、平成11年に英国式庭園としてリニューアルしました。その後、英国式庭園の開園15周年を契機にイベントを開催するようになりました。

○\_\_\_委員長 公園設置の目的は何ですか。

○公園緑地課 元々は、都市公園の一種である風致公園という位置付けで、自然風景を楽しむことを目的に整備された公園です。

○\_\_\_委員長 普通の都市公園とは違って高級感がありますね。

○公園緑地課 英国式庭園というものは、自然本来の風景をそのまま生かしたづくりが特徴です。七ツ洞公園に元々存在している池や森、それに芝生広場を生かして整備しています。池の形も『サーペンタイン』という、蛇がうねったような特徴的な形をしています。

○\_\_\_委員長 この中には有料施設はありますか。

○公園緑地課 いいえ、全て無料です。

- \_\_\_委員長 確認ですが、この事業の行政評価は、公園運営の全体を評価すればよいのでしょうか。
- 公園緑地課 運営の一つとしてイベントを開催していますので、イベント自体を評価していただければと思います。
- \_\_\_委員長 はい、分かりました。委員の方から御質問等ありますか。
- \_\_\_委員 よろしいですか。平成 11 年から英国式庭園になりまして、平成 26 年までに花の枯死や施設の老朽化が進んだということでしたが、15 年余りの間はメンテナンスを怠ってしまったということでしょうか。
- 公園緑地課 いいえ、そういうことではないです。公園内に『秘密の花苑』という円形の花園があるのですが、そこへイギリスから取り寄せた花々を植えてみましたが、日本の風土に合わないために生育しませんでした。何度も試してみましたがうまくいかず、公園協会でも管理が難しくなってきました。そのような状態で 10 年以上経過しますと、施設も老朽化してしまい、廃れてきてしまったのが実情です。施設を作るに当たってイギリスから建材を取り寄せたり、かなり設備投資をしていました。そのような貴重な施設を廃れさせたままではもったいないと、地元の方々からの声がありました。そこで国田地区自治実践会の協力を得て、七ツ洞公園の再生事業を始めました。デビッド・オースチン・ローズ社というバラを専門に扱う会社の提案を受け、日本の気候に合うイングリッシュローズというバラを開発・育成してきました。
- \_\_\_委員 その効果は出ていますか。
- 公園緑地課 はい。出てきております。
- \_\_\_委員長 その他に何かありますか。
- \_\_\_委員 事業費内訳の支出は、イベントに関係するものですか。
- 公園緑地課 はい。
- \_\_\_委員 かなりの金額ですね。委託料とは何を委託したのですか。
- 公園緑地課 イベント開催にあたってテント設置などの会場設営、音響、警備費などです。
- \_\_\_委員 イベントの運営はどこが行うのですか。
- 公園緑地課 運営の主催者は水戸市です。
- \_\_\_委員 水戸市の職員がプログラムを考えているのですか。
- 公園緑地課 公園緑地課にはそういう企画ができる人材はおりませんでした。そこでマルシェ・ド・ノエルというイベントを行っている実行委員会の方をお願いして、企画提案や情報発信など多大な御協力を頂いてイベントを行いました。
- \_\_\_委員 専門性の高い公園運営の知識を持つ方が必要と思われませんが、今後も長く安定して関わってくれる見込みはありますか。
- 公園緑地課 イベント開催にあたって実行委員会を立ち上げて、民間活力を生かせないか検討中です。デザイン専門学校に『七ツ洞公園で、学生によるイベントを企画・開催してみませんか』と提案したところ、今年 7 月にブライダルフェアを行っていただきました。今後も、学生の勉強の場として活用していこうと話合いをしております。
- \_\_\_委員 今の話は公園の多様な活用についてですが、公園運営自体はどこがするのですか。

○公園緑地課 維持管理は水戸市公園協会が担当しています。秘密の花苑の管理は、水戸市植物公園が主体となって、水戸イングリッシュガーデンクラブという団体の方たちが行っています。

○\_\_\_委員 管理運営を民間に委託するという事はないのですか。

○公園緑地課 それはないです。あくまでも公園の管理運営は水戸市が行い、民間にお願いするのはイベント開催についてです。

○\_\_\_委員 これからも無料で続けていくということですか。

○公園緑地課 はい。将来的には民間委託して有料化ということも視野に入れていくかもしれません。しかし、七ツ洞公園は知名度が低かったものですから、いろいろな方たちから御意見を頂いて、まずは公園の知名度を上げるために努めたいと考えています。

○\_\_\_委員 東京でのPRというのは、具体的にどのようなことをされたのですか。

○公園緑地課 今年度末に、トークショーを企画しています。東京の小石川公園や新宿御苑の方を招いて、七ツ洞公園についてのトークショーを考えております。首都圏へ向けて知名度を高めようと考えております。

○\_\_\_委員 広い定義での公園、庭園と連携していくことで露出を高めようということですね。

○公園緑地課 はい。英国式庭園というものは、日本国内にそれほどないので、施設を持つポテンシャルは高いです。知名度が低いので、そこを何とかしたいと思います。

○\_\_\_委員 秘密の花苑を管理できる、専門的な知識を有する人は雇用されていないのですか。

○公園緑地課 水戸市植物公園の\_\_\_園長という、植物に精通されていらっしゃる方がリーダーとなって秘密の花苑を管理してくださっています。その方の教えを受けて、水戸イングリッシュガーデンクラブの方々もスキルアップしています。今後は\_\_\_園長の手を離れても、管理ができるものと考えています。

○\_\_\_委員 公園の魅力を高めて発信する取組を進めている。どの辺りをゴールとするのか、将来の見通しはどうか。

○公園緑地課 再生事業が始まって3年目になります。5年後くらいをめどに計画を立てております。

○\_\_\_委員 有料化するとか、専門家を多く集めてきてはどうかという気もします。一方で市民のための公園であり、地域の人たちの協力があって運営されているということもわかります。

○公園緑地課 国田地区は過疎化が進んでいる地域でして、その地域活性には貢献できていると思います。クラウドファンディングというのも検討したことはあるのですが、自然を生かした庭園ですのでお金になるものはありません。栽培したイングリッシュローズを販売できたらとも考えたのですが、これは開発した会社に権利があるため、販売はできませんでした。どうしたら資金を得られるか、いろいろ考えているのですが難しいです。新しい発想という点で、民間活気に期待する思いもあります。

○\_\_\_委員長 よろしいですか。行政評価調書の中で、再生事業開始前と比較して来園者が2倍以上に増えたとありますね。素晴らしいことだと思いますが、やはりイベントの効果なのでしょうか。

○公園緑地課 イベントとは別に、七ツ洞公園が『テルマエ・ロマエ』という映画のロケ地になりまして、それで一気に知名度が上がりました。その後イベントを開催して、徐々に人が来るようになりました。

○\_\_\_委員長 イベント時の来園者は、年間合計で2万人ほどいるようですが、市内からの来客が多いのですか。

○公園緑地課 県外からの方もいます。趣味の園芸という番組に出演されている、三上真史さんという俳優さんを招いてイベントを行った時は、県外から多くの方が来園されました。東京、栃木、千葉、福島といったところです。

○\_\_\_委員長 イベント時には相当な人数が集まっていますが、平常時は少ないということですね。

○公園緑地課 はい。イベント時にはそれなりの人数が集まるようになってきましたので、目標値はイベント時以外の平常時の来客数を設定しています。

○\_\_\_委員長 イベントの内容を具体的に教えていただけますか。

○公園緑地課 40店くらいの、ヨーロッパ風の雑貨店や飲食店が出店しています。

○\_\_\_委員 私も行ったことがあります。イベントをきっかけとして、その後も公園に来てほしいという趣旨があるのでしょうかから、その点では成功していると思いました。私はまた行ってもいいと感じました。出店料というのは取っているのですか。

○公園緑地課 いいえ、取っておりません。

○\_\_\_委員 市の負担を減らすことも今後の課題だと思いますから、そういった部分も検討していただければと思います。

○\_\_\_委員長 イベントの滞在時間はどのくらいでしたか。

○\_\_\_委員 当日は大変な人出で、朝一番に行って2時間くらいで帰ってきました。

○\_\_\_委員長 どのように過ごされましたか。

○\_\_\_委員 飲食店で食事をしたり、花を観賞しました。

○\_\_\_委員長 ステージイベントはないのですか。

○\_\_\_委員 ないです。七ツ洞公園がどのようなものかを知るきっかけになる、良いイベントと思いました。

○\_\_\_委員長 イベントに合わせて花を増やすとか、そういうことはされていますか。

○公園緑地課 いいえ。

○\_\_\_委員長 ではイベントにおいてプラスされるのは模擬店くらいなのですね。

○公園緑地課 そうです。

○\_\_\_委員長 そうするとあまりお金はかからないように思えますが、報償費や謝礼金は誰に支払われるのですか。

○公園緑地課 おしゃれな雰囲気のためには、経費がかかってしまいます。

○\_\_\_委員長 それは委託料ではないのですか。

○公園緑地課 委託料はベーシックな会場設営をお願いした業者へ支払っています。そこへヨーロッパ風の装飾を施すのはマルシェ・ド・ノエル実行委員会の方が行いまして、こちらへ報償費は支払っています。イベントのテーマを設けて、今年はケルティックフェスティバルということで、ケルト文化を感じさせるような風景を演出しました。去年は不思議の国のアリスをテーマにしていました。

○\_\_\_委員長 分かりました。内容は素晴らしいものと思いますが、イベント時と平常時のギャップが大きいですね。イベントをきっかけに来園者を増やすという戦略は良いと思いますので、PR法を検討して、引き続き周知に取り組んでいただきたいと思います。他に何かありますか。

○\_\_\_委員 よろしいですか。先日七ツ洞公園のホームページを拝見したのですが、読み込みが悪いように感じました。もっとスムーズに見られるといいと思いましたので、検討課題に入れていただければと思います。

○公園緑地課 はい。検討させていただきます。

○\_\_\_委員長 ではそういうことで、よろしく願います。ありがとうございました。

○\_\_\_委員長 それでは全ての事業について、行政評価が終わりました。次に、これまでの審議を踏まえて、行政評価システムに対する意見や感想について、議論したいと思います。こちらについては必要があれば、答申書の中に、事務事業の評価とは別に記載していきたいと考えております。何か気付いたこと、改善すべき点などありますか。

○\_\_\_委員 先ほどの産業祭についてですが、商工祭と農業祭合わせて一つのイベントとして行っているのに、予算は別になっている。しかし財源は一緒というのはおかしいのではないかと思います。出店料についても、商工祭は取っているのに、農業祭は取っていない。直売所で収益が上がっているのに計上されていないという話でした。JA水戸から補助金が出ているからバランスが取れているのかもしれませんが、それなら市は手をひくべきではないかと思います。

○\_\_\_委員長 縦割りではない、現場はうまくやっているということでしたが、市民はどう思うのでしょうか。二つの事業を一本化して、行政評価調書を作ることはできませんか。

○執行機関 継続評価となりましたので、来年度は2件を併合して、産業祭として御審議いただくことが可能か検討いたします。

○\_\_\_委員 少なくとも、産業祭としての収支が1枚で出てくるべきと思います。

○\_\_\_委員長 ではその形で進めていただけてよろしいですか。その他に何かありますか。

○\_\_\_委員 知らないイベントが多かったので、パンフレットなどの資料を御用意いただけるとありがたいです。

○\_\_\_委員長 調書にはアンケート結果など、いろいろ資料が付いていますが、事業内容が分かりやすい資料も付けていただけるといいですね。他にはありますか。

○\_\_\_委員 よろしいですか。七ツ洞公園再生事業は、予算化されているのですか。

○執行機関 年度ごとに予算を組んでおります。

○\_\_\_委員 そうすると予算を組む段階で、業者などはある程度決まっているのですか。

○執行機関 ある程度は絞り込んでいますが、あくまでも予算の段階の話ですから、執行の時に変わることもありえます。

○\_\_\_委員 依頼する団体ですが、専門性が高いですね。随意契約になるのですか。

○執行機関 テント設営や警備などは委託ですが、マルシェ・ド・ノエル実行委員会については特殊です。

○\_\_\_委員 その団体を選んだ理由は何でしょうか。その部署に任せている形ですか。

○執行機関 そうです。



○\_\_\_委員 例えば高額な物品を購入する場合は、仕様書を作って一般入札するのが通常です。話を聞いていると、毎年テーマが違っていて、モニュメントも作って、それでいて入場無料はどうかのと思いました。有料化するとなれば、いろいろ手続きしなければならぬでしょうし、入場制限など手間もかかるでしょう。そういった議論はされていないのですか。

○執行機関 予算を組むに当たっては、その予算が適正かどうかを財政課がチェックしますので、その場では議論します。

○\_\_\_委員長 七ツ洞公園再生事業は、委託料が 400 万円くらいになりますから、業者は 1 社だけではないですよ。コンペティションなどしているのですか。

○執行機関 テント設営などは、いくつかの会社から見積もりをとって決めています。装飾を手掛ける団体については、委託料ではなく報償費を支払っています。

○\_\_\_委員長 はい。他にはありますか。

<意見なし>

○\_\_\_委員長 それでは行政評価の進め方は、これまでのような流れでよろしいですか。本日の議論を踏まえて、答申をまとめていくこととなりますが、答申書の形式について、確認をしていきたいと考えております。まず、資料⑭「答申書形式(案)」について、執行機関から説明をお願いします。

○執行機関 はい。本日お配りしました資料⑭を御覧ください。次回の第 5 回行政評価委員会では、これまでの審議内容をまとめて、報告書として答申書を市長へ提出いたします。答申書は「答申書形式(案)」にそってまとめる考えです。2 枚目からが答申書の内容となっております。1 評価の経過、2 評価結果の総括、3 各事務事業に対する評価、4 評価を終えての意見、5 委員名簿となります。以上で説明を終わります。

○\_\_\_委員長 ありがとうございます。ただ今説明のありました答申書形式(案)について、何か御意見等ありますか。

<意見なし>

○\_\_\_委員長 では、この形式で答申書を作成するというので、よろしくをお願いします。委員会の結論としては、本日、意見の集約がされていますので、文言等の整理については、正副委員長に一任いただきたいと思います。よろしいでしょうか。それでは副委員長と調整のうえ、委員会として答申書を作成してまいります。なお、答申前には、メール等で報告をしていきたいと思っております。それでは、今後のスケジュールについて、執行機関から御説明をお願いします。

○執行機関 はい。今後のスケジュールについて御説明いたします。本日で審議は終了いたしました。次回は、答申案を決定し、その後、市長へ答申していくこととなりますが、その答申日は、10 月 5 日水曜日午後 3 時からとさせていただきます。場所は、本日より同じ本庁舎南側臨時庁舎中会議室にて行います。なお、答申後につきましては、執行部では、答申内容を踏まえ、行政改革推進本部において総合評価を決定し、改善に取り組んでまいります。今後のスケジュールにつきましては、以上です。

○\_\_\_委員長 はい。ただ今、執行機関より説明のありましたスケジュールについて、何か御質問等ありますか。

<意見なし>

○\_\_\_委員長 それでは、皆様お忙しい中、持ち帰っての作業やヒアリングを含めて、集中的に御審議いただき、誠にありがとうございました。当委員会の審議が円滑に進められたのも、委員の皆様の御協力のおかげでございます。改めまして御礼申し上げます。以上をもちまして、第4回の委員会を終了いたします。大変お疲れ様でした。